

737系通勤形交流電車が登場します

- 老朽化したキハ143形気動車などの置換用として、737系通勤形交流電車を13編成(26両)製作します。
- 当社の通勤形電車では初めてワンマン運転に対応した車両です。

1. 車両のデザインコンセプト

(1) エクステリアデザイン

- 地域の移動手段として通学や通勤で日常にご利用いただくことから、優しさが感じられ、親しみやすく明るく若々しいイメージとして「さくらいろ」をイメージした淡いピンク色の塗装としました。前面部は、黒色をベースとし、視認性向上を目的にコーポレートカラーのライトグリーンと警戒色の黄色を入れたデザインとしました。

(2) インテリアデザイン

- エクステリアと同様、優しさが感じられるデザインとしました。乗降ドアを淡いピンク色とし、座席は、北海道内に咲く色とりどりの花をイメージしたドットをちりばめたデザインとしました。



エクステリアデザインイメージ



インテリアデザインイメージ

2. 車両概要

(1) 車両形式

737系通勤形交流電車

(2) 車両の仕様

- 車両編成：2両(1M1T) ※最大6両まで併結可能
- 最高運転速度：120km/h
- 車体：アルミ合金製(先頭部：鋼鉄製)
- 室内：オールロングシート
- その他：全電気ブレーキ、ワンマン運転等

(3) 車両の特徴

○ バリアフリー化の推進

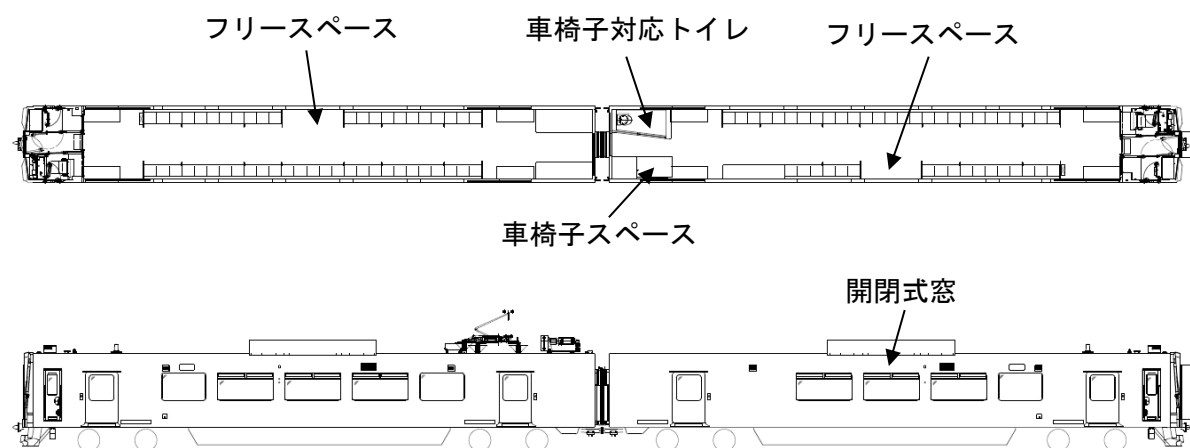
- ・ 客室床面を低くし乗降口のステップを無くします。
※ハ143形気動車と比較し、19cmの低床化を行っています。
- ・ 車椅子のお客様がご利用できる大型トイレを設置します。
- ・ 車椅子スペースを設置するほか、各車フリースペースを設置し、車椅子ご利用のお客様以外にもベビーカーをご利用のお客様や大きな荷物をお持ちのお客様にも快適にご利用いただけるよう配慮しました。

○ 環境性能の向上

- ・ 主変換装置にハイブリッドSiC(シリコンカーバイド)モジュール、照明にLEDを採用し、従来の車両と比較して消費電力を低減しています。

○ ワンマン運転対応

- ・ 当社の通勤形電車では初めてワンマン運転に対応する装置を搭載します。



号車	(←室蘭) 1号車	2号車 (苫小牧→)
形式	クモハ737-0代	クハ737-0代
定員	座席：49人	座席：44人
	立席：87人	立席：89人
	合計：136人	合計：133人
	2両合計：269人（座席：93人） (参考)ハ143形気動車 2両合計：244人（座席：96人）	
客室設備	ロングシート（一部優先席）	
	—	車椅子対応トイレ
	—	車椅子スペース

3. 車両の落成時期

2022年冬に最初の編成が落成し、2023年春まで順次落成します。

4. 車両の運用時期

2023年春より室蘭線（苫小牧～室蘭間）で運用予定です。



エクステリアデザインイメージ



インテリアデザインイメージ①



インテリアデザインイメージ②



インテリアデザインイメージ③